

## 愛知県のオオマリコケムシの追加記録

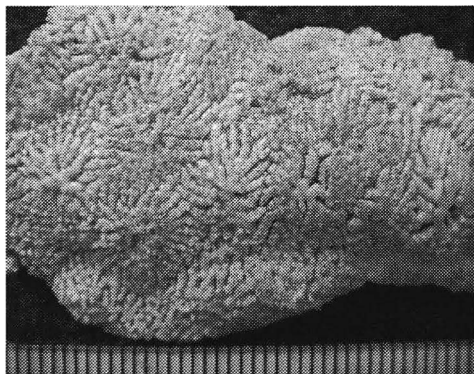
松岡敬二<sup>※</sup>・荒尾 一樹<sup>※※</sup>・吉鶴靖則

### 1. はじめに

オオマリコケムシ (別名: クラゲコケムシ) *Pectinatella magnifica* は、北アメリカ東部原産の淡水生のコケムシである。突如ため池などに数10cm から1m に達する巨大な群体として出現することがある。国内では1972年に河口湖で発見され (Mawatari, 1973)、それ以降に各地から発見されるようになった。愛知県では1998年8月31日に碧南市西端町の油ヶ淵 (増田, 1999)、2001年7月の入鹿池 (大沼, 2001; 大沼ほか, 2001) から報告されている。

巨大な群体は、成長し、死ぬと群体内にガスが発生し、付着物から離れ浮遊する (大沼ほか, 2001) と考えられている。水面に浮遊する群体は目に留まることが多くなり、池での棲息が確認されることとなる。今回、愛知県内の2箇所のため池で確認したので報告する。

報告にあたり、下山淳二、門田康孝、宮本芳子、小島康史、益田芳樹の各氏には文献や試料の採集、種の同定でお世話になった。記してお礼申し上げる。



(アルコール液浸標本)



### 2. 確認場所

①豊田市京ヶ峰6丁目の寺部池

採集者: 吉鶴靖則・川田奈穂子

採集日: 2009年7月1日

採集した寺部池は、満水面積32,000 m<sup>2</sup>、貯水量89,600 m<sup>3</sup>の灌漑用のため池 (豊田市, 1996) で、1878 (明治11) 年に近隣住民によって造られた (川本, 1957)。矢作川の支流である加茂川水系に属し、百月ダム岩倉管理所から取水している。淡水海綿 (ミユラーカイメン: 益田芳樹氏同定)、貝類 (オオタニシ、カワニナ、タガイ)、魚類が棲息している。標本は豊橋市自然史博物館に保管

※ 豊橋市自然史博物館 ※※ 株式会社環境科学研究所

する。

②犬山市大字塔野地の大畔池 (おおぐろいけ)

採集者：荒尾一樹

採集日：2009年7月11日

満水面積4ha、貯水量109,000 m<sup>3</sup>の灌漑用のため池である。2005年10月～2006年9月の間に月1・2回の観察を行っているが、いずれも確認できなかった。昨年、犬山市役所の小島康史氏により同池で確認され、本年(2009年7月11日)もまた水底の材に付着した群体が多数確認された。7月20日には岸延長120mを調査し、7塊が池底で確認できた。採集時の大畔池の水温は、26.9°C、pH6.68、電気伝導率6.22mS/mであった。棲息魚類は、オオクチバス、ブルーギル、ヨシノボリ属数種である。



写真 寺部池全景

### 3. 参考文献

- 川本統重(1957)：池。「たかやほし夜咄」, p.106-109. 渡辺守綱公顕彰会, 愛知。
- 増田元保(1999)：油ヶ淵で採集された外来生物(2種) オオマリコケムシとアストロノータス・オセレータス. 碧南海浜水族館碧南市青少年海の科学館年報, (12), 29.
- Mawatari, S. (1972)：New occurrence of *Pectinatella magnifica* (Leidy) in a Japanese lake. Proc. Jap. Soc. Syst. Zool., **9**, 41-43.
- 大沼 淳一 (2001)：入鹿池に発生したオオマリコケムシ (*Pectinatella magnifica*) . ため池の自然, (34), 5-8.
- 大沼 淳一・服部 嘉治・酒井 祥亘・吉田 恭司・丹羽 智子・田中 庸央(2001)：入鹿池に発生したオオマリコケムシ (*Pectinatella magnifica*) . 愛知県環境調査センター所報, (29), 111-114.
- 豊田市(1996)：「豊田の水資源資料集」. 178p., 豊田市, 愛知。